

NEWS23 週刊報告 ダイジェスト版

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：8/13～8/17

・8/13(月)

南北閣僚級会談、小室圭さん、翁長知事告別式などについて報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の見地から検証を行いました。特に問題点は見られませんでした。なお、翁長知事告別式についての報道は検証者の所感を記しました。

・8/14(火)

自民党総裁選に向けて、白人至上主義、韓国慰安婦問題、沖縄県知事選に向けて、天皇皇后両陛下の被災地訪問予定などについて報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の見地から検証を行いました。特に問題点は見られませんでした。ただし、白人至上主義についての報道では他の放送日の報じ方によっては印象操作が疑われかねない場面が見られました。また、沖縄県知事選に向けての報道については検証者の所感を記しました。

・8/15(水)

「平成最後」の終戦の日、【特集】綾瀬はるか「戦争」を聞く、トランプ大統領が元補佐官を犬呼ばわりなどについて報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の見地から検証を行いました。特に問題点は見られませんでした。

・8/16(木)

トランプ vs メディア、総裁選に向けて、皇太子一家静養入りなどについて報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の見地から検証を行ったところ、トランプ vs メディアについてはやや不十分に思われる点が見受けられました。また、総裁選に向けてのトピックについては検証者の所感を記しました。

・8/17(金)

農水省と総務省で障害者の雇用率を水増し、前横須賀市長書類送検、新しい政府専用機到着などについて報じられました。これら例示したトピックについては放送法第四条の見地から検証を行いました。特に問題点は見られませんでした。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年8月13日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙 ※皆川キャスターは大阪から中継</p>		
<p>検証テーマ：南北閣僚級会談、小室圭さん、翁長知事告別式</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お盆休み、各地でゲリラ豪雨 ・山口県周防大島、帰省中の二歳男児不明 ・大阪富田林警察署から4回逮捕の男が逃走 ・群馬県山中に防災ヘリ墜落 ・北海道で4日連続住宅地にヒグマが出現 ・南北閣僚級会談 ・米国滞在中の小室圭さん、ロースクールに初登校 ・日経平均株価、トルコショックの影響で終値が先週末に比べ440円下落 ・翁長知事きょう告別式 ・スポーツ報道 ・23Today <p>各地でゲリラ豪雨 大阪府富田林市で四回逮捕の男が脱走 兵庫県加古川市の衣装ケースに遺体、大阪市の20歳女性と判明 新潟県十日町市で背中に刃物が刺さった女性遺体、行方不明20代女性との関連操作 埼玉県、真冬のトイレで乳児を放置した母親を逮捕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南北閣僚級会談：結論→特に問題なし <p>今日板門店で南北閣僚級会談が開かれ、その中で韓国のムン・ジェイン大統領と北朝鮮の金正恩党委員長の三回目となる首脳会談が来月中旬に平壤で開かれることになることが決まったこと、米朝首脳会談から二ヶ月が過ぎても非核化や朝鮮戦争の終戦に関する協議が膠着状態に陥っており南北首脳会談をきっかけとして事態の打開を目指すが見られていることが伝えられた。</p> <p>スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返されられた。</p> <p>雨宮塔子「南北首脳会談は4月5月に続いて半年で3回……」</p> <p>星浩「そうですね、まあ頻繁にね、合うことは結構なんですけどそれだけ非核かという一番大きい問題が進展していないということの現れなんじゃないかな。」</p> <p>駒田健吾「北朝鮮にとって非核化というのはどういうメリットなんでしょうか。」</p> <p>星浩「まあ、韓国からの経済支援というのは当て込んでいるんでしょうけれども、やっぱり最大の問題は韓国を仲介してアメリカとどう話すかというのが北朝鮮の狙いですよね、非核化を少しずつ進めてアメリカに制裁解除</p>		

を迫るというやり方なんですけれども、トランプ大統領も11月に中間選挙を控えて成果を出したいということがありますからね、この北の公正をどういうふうに受け止めて、どう判断するかというのはこれから焦点になってくるかと思えますね。」

このトピックに当てられた時間は95秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・小室圭さん：結論→特に問題なし

秋篠宮家の長女眞子さまとの婚約が内定している小室圭さんが留学先となるアメリカのロースクールのオリエンテーションに出席してきたこと、小室さんは弁護士資格を得るためおよそ三年間学ぶことになることが伝えられた。このトピックに当てられた時間は24秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・翁長知事告別式：結論→特に問題なし

今月8日膵臓がんのためになくなった沖縄県の翁長知事の告別式が今日営まれ、およそ4500人が参列し最後の別れを惜しんだとことが報じられた。また、翁長知事の死去を受けて来月30日に県知事選挙が行われることになり県政の与野党が対応を急いでいることも併せて伝えられ、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返し広げられた。

雨宮塔子「来月30日に投票ということで短期決戦ですね。」

星浩「そうですね、自民党は当初11月の知事選を想定して今回は基地問題の経済振興をアピールして戦おうという計算でしたけども、まあ知事選が前倒しになって基地問題がクローズアップされますので、ちょっと戦略の練り直しということになりますよね。」

駒田健吾「翁長県政を担ってきた陣営としては弔い合戦の意味合いがありますよね。」

星浩「そうですね、翁長さんの強みはなんと言っても元々自民党の中核にいた人ですから革新勢力と併せて非常に幅広い支援体制が組めたということなので、今回も翁長さんの陣営としてはその保守から革新までという幅広い陣営の支援を受けられる候補を今探しているんですけども、なかなか苦戦しているようですね、自民党の総裁選挙がおそらく9月の20日投開票ということになるので新しい総裁にとっては最初の大きな選挙ということになると思えますね。」

このトピックに当てられた時間は102秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

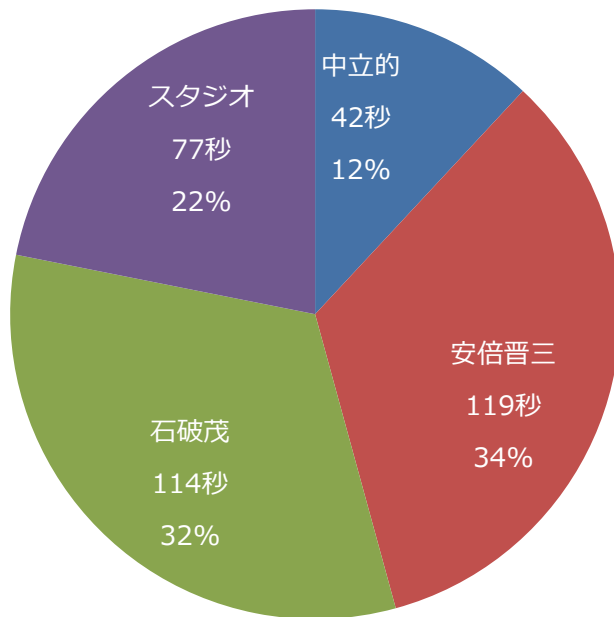
検証者所感

・翁長知事告別式

知事が現職のまま死去するということは珍しいのではないだろうか。県知事選挙に向けての動きおよび県知事選挙がどのように報じられるのかは注視するテーマであると考えます。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年8月14日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：自民党総裁選に向けて、白人至上主義、韓国慰安婦問題、 沖縄県知事選に向けて、天皇皇后両陛下の被災地訪問予定		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風15号九州上陸へ ・大阪富田林警察署から逃走中の男と赤い自転車 ・自民党総裁選に向けて ・白人至上主義 ・イタリア、ジェノヴァの高速道路で橋が落下 ・山口県、2歳男児未だに行方不明 ・イギリス・ロンドン中心部で車暴走、テロ事件として捜査 ・新潟県十日町市、背中に刃物が刺さった遺体の身元判明 ・岩手で釣りボートの戻らず ・スポーツ報道 ・23Today 台風15号 大阪富田林警察署から逃走中の男 韓国慰安婦問題 沖縄知事選に向けて 天皇皇后両陛下の被災地訪問予定 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自民党総裁選に向けて <p>自民党総裁選に向けて安倍総裁と石破元幹事長の動向が報じられた。このトピックに当てられた時間は352秒で、中立的な場面、安倍総裁の動向、石破元幹事長の動向、VTRを承けてのスタジオでの議論という4つの場面に大別され、それぞれの場面の時間配分及び比率は以下の通りであった。</p>		



安倍氏の動向については、お盆休みに地元へ帰省し花火大会に参加したり行きつけのお好み焼き屋で「アベノミックス」と寄せ書きをする様子、まだ正式な出馬表明をしていないものの国会議員票の既に7割を抑えたと見られ余裕が感じられる様子などが伝えられるとともに、総裁選の争点として憲法改正を打ち出したことや安倍氏の「憲法改正を実現する、来る総裁選が党员の間でしっかりと議論を深め、一致団結して前に進むきっかけとなることを期待しています。」というコメントが取り上げられていた

石破氏の動向についてはアベノミックスの成果を強調する安倍総理陣営の動きが気になっている様子、石破氏の「安倍さん側が『石破になると大不況になる』と言って歩いている。」「この戦いは、日本のためにやらねばならない。政府、政治家も官僚もどっちも国民を見なければいけませんよ。」というコメントが取り上げられるとともに、森友、加計学園問題などで揺らいだ政治の信頼を取り戻すと「正直、公正。」のキャッチフレーズを掲げ、意欲を見せているとのことが伝えられた。また、このキャッチフレーズの狙いについて石破派幹部の「正直、公正のフレーズは安倍総理が指摘される『嘘つき』、『えこひいき』と対比になっているよね。」というコメントが紹介されていた。加えて、地方票の獲得に活路を見出したいとしている石破氏が小泉進次郎氏取り込みに向けて接触していることが伝えられるとともに、石破氏の「本当に日本を託すのに誰が良いかっていう判断を小泉さんがする、ということだと思いますね。」というコメントが取り上げられていた。また、憲法については「党としても仮に国会に提案をすれば、まだ党議決定も何もしていないわけですよ。党議決定のプロセスは最低限必要だと思います。」というコメントが取り上げられるとともに、「何も変わらない改正をすべきではない」と安倍氏に対して違いを見せているということが伝えられた。

VTR を承けてスタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。

雨宮塔子「安倍さんは憲法も総裁選の争点にしたいようですね。」

星浩「まあ、安倍さんも石破さんも憲法改正を掲げているんですけども、考え方には違いがあるんですね。」

駒田健吾「特に違いがあるのが9条なんです。憲法9条には一項と二項がありますが、安倍総理が9条に自衛隊の位置づけを書き加えることを提案していることに対して、石破さんは陸海空軍を持たない、この二項を削除して通常の軍隊として位置づけることを提案しています。」

星浩「まあ、石破さんの考え方は前の自民党の草案に近いんですけども、安倍さんは改正実現を優先しようということなんです。もう一つそれと時期的な問題がありまして、安倍さんは臨時国会でも出しましょうということなんです。で、石破さんからすると憲法改正、とりわけ9条の改正の優先順位はそんなに高くないからゆっくりやるべきだと言うんですね。」

駒田健吾「そして安倍総理は来年の憲法改正の発議をしたい、という考えなんですが実現しますでしょうか。」

星浩「そうですね、与党の中でも最近公明党の首脳がね、そういう来年の発議は我々は阻止するんだ、とかなり意気込んでいますし、憲法改正というのは国会発議ですからね、野党の理解も得なくちゃいけないということでそう簡単ではありませんが。まあ安倍さんの今回の発言はおそらく自民党内向けのアピールだと考えればいいと思いますね。」

放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。

・白人至上主義：結論→特に問題なし

アメリカではトランプ大統領の就任以来、白人第一を掲げる白人至上主義の台頭が顕著になっていることについて取り上げられた。今回では特に、14日に行われる中西部ウィスコンシン州の共和党の予備選で下院議員に立候補しているポール・ニーラン氏について取り上げられた。ニーラン氏が英国のヘンリー王子と結婚したアフリカ系のルーツを持つメガン妃の顔写真に一万年前の古代人のイメージを重ねる加工をしツイッターに投稿したこと、この投稿に対し人種差別だと批判が殺到しアカウントは凍結されたことで注目を浴びたと紹介されるとともに、アメリカ社会では白人は時に特権階級とみなされるためニーラン氏のように白人のための政治を公言することはタブーとされてきたことが伝えられた上でそうした中で白人は時に肩身の狭い思いをしていると不満を漏らすニーラン氏の「私だって工場で働きながら大学に通いました工学の学位とMBAを取れたのは白人の特権ではなく本当に努力したからです。」というコメントが紹介された。

また、ニーラン氏の支持者の青年男性の「長年の問題である移民に厳しい人がいいです。」というコメントやニーラン氏の支持者の中年男性の「白人が白人を守りたいのは当然です、新しい風が必要それはニーラン氏です。」というコメントが紹介されていた。

また、スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

雨宮塔子「この白人至上主義はトランプ大統領の下ますます勢いづくのでしょうか。」

星浩「そうですね、ほとんどの歴代大統領は共和党民主党にかかわらず白人至上主義はだめだということを明言してきたんですけど、トランプさん必ずしも明言していませんので、そういうことによってその白人至上主義者が勢いづいているということが現状なんです。これから11月の中間選挙に向けて共和党の中の予備選挙でもまたこういう議論がありますし、11月の本選挙でも民主党と共和党が激突しましてね、その白人至上主義の是非みたいな議論があって、それによってアメリカが再び分断されていくということが非常に懸念されますね。」

このトピックに当てられた時間は276秒で、放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。

・韓国慰安婦問題：結論→特に問題なし

8月14日を「慰安婦被害者を称える日」と去年末に定めた韓国政府がはじめての記念式典を開いたこと、ムン・ジェイン大統領は演説で慰安婦問題は解決していないと改めて訴えたこと、夜にはソウルでも集会が開かれ学生を中心に400人ほどが参加し慰安婦問題をめぐる日韓の溝は深まるばかりであるとのことが報じられた。このトピックに当てられた時間は26秒で、放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。

・沖縄県知事選に向けて：結論→特に問題なし

沖縄県知事選挙に自民党から出馬要請を受けていた宜野湾市の佐喜真淳市長が正式に出馬を表明したこと、佐喜真氏は基地の返還を推進するとしたが普天間基地の辺野古移設の是非については立場を明らかにしなかったとのことが報じられた。このトピックに当てられた時間は24秒だった。

・韓国慰安婦問題：結論→特に問題なし

天皇皇后両陛下が西日本豪雨の被災者を見舞われることになったこと、宮内庁によると来月13日に広島県と岡山県の被災地をその一週間後の来月20日に愛媛県の被災地をそれぞれ日帰りで訪問される予定であるとのことが伝えられた。このトピックに当てられた時間は19秒で、放送法第四条の観点からは特に問題はなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・白人至上主義：結論→他の放送日との比較検討を要する

ニーラン氏の集会の映像では白人男性のみならず白人女性も一定数いたが、今回ニーラン氏の支持者としてコメントが取り上げられていたのはいずれも男性であった。今回一回の放送では判断はできないが、他の放送日においても、このように女性も一定数いたにもかかわらず男性のコメントばかりを取り上げ女性のコメントを取り上げないということが続くのであれば、それはいわゆる「白人至上主義」が白人男性に特有の問題であるかの印象を与え、白人至上主義と白人男性を強く結びつけると同時に白人至上主義と白人女性とを実際よりも切り離されたものという印象を与えてしまう恐れがあると言えるだろう。

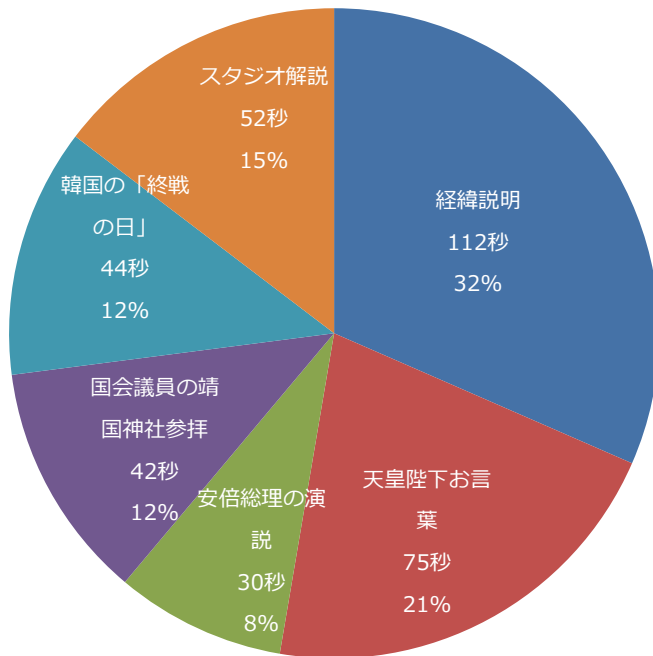
検証者所感

・沖縄県知事選に向けて

これから県知事選に向けて動きを活発化させる陣営が増えてくると考えられ、今後も注視すべきテーマだと見ている。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局： TBS	番組名： NEWS23	放送： 2018 年 8 月 15 日
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙 綾瀬はるか		
検証テーマ：「平成最後」の終戦の日、【特集】綾瀬はるか「戦争」を聞く トランプ大統領が元補佐官を犬呼ばわり		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地でゲリラ豪雨 ・2歳男児を保護 ・「平成最後」の終戦の日 ・【特集】綾瀬はるか「戦争」を聞く ・21歳年下夫を殺害 容疑者の母も逮捕 ・富田林署逃亡事件 ・海釣りで行方不明の3人発見 ・イタリアで橋崩落 ・スポーツ報道 ・23Today <ul style="list-style-type: none"> ・神父が児童に性的虐待行為 ・トランプ大統領元補佐官を犬呼ばわり ・『チェブラーシカ』の原作者死去 ・沖縄県のアパートで女性が死亡 ・口永良部島で火山活動 ・天気予報 		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成最後」の終戦の日→結論：放送法第四条の見地から問題は見られなかった。 <p>今回は「平成最後」の終戦の日を迎えたことが伝えられ、その中でも天皇陛下のお言葉、安倍首相の演説、国会議員の靖国神社参拝に焦点が当てられた内容であった。このトピックに当てられた報道時間は355秒で、各焦点の報道時間の配分は以下の通り。</p>		



国会議員の靖国神社参拝についての内容は以下の通り。

尾辻秀久会長（超党派の国会議員の会）「国会議員が戦争を知らない世代ばかりになってしまったことを心配している。」

ナレーター「安倍総理本人は参拝を見送り、自民党の芝山総裁特別補佐を通じて、自由民主党総裁安倍晋三として私費で玉串料を納めました。これまでところ稲田元防衛相や小泉甚次郎筆頭副幹事長が参拝を済ませていますが、閣僚は姿を見せていません。」

また、スタジオ解説の内容は以下の通り。

雨宮「天皇皇后両陛下にとっては最後の追悼式となったわけですが、お言葉には『戦後の長きに渡る平和な年月』という一説が加わりました。」

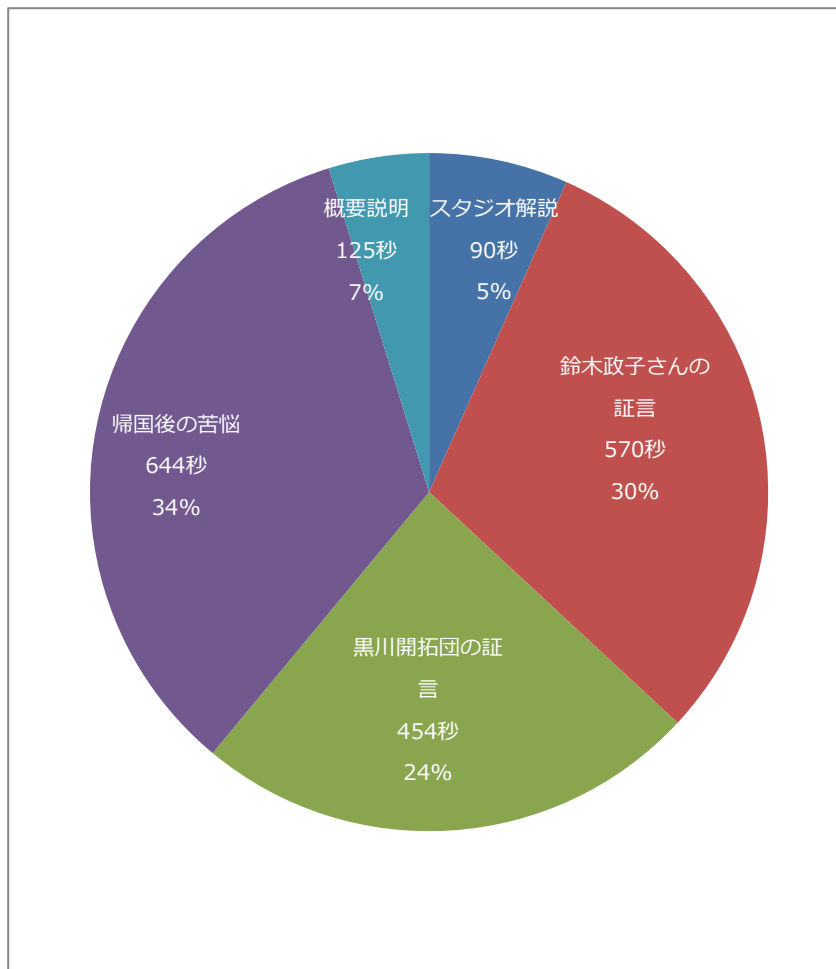
星「そうですね。宮内庁の関係者によりますと、戦後 70 年の時に陛下は『深い反省』という言葉で、自分の思いを込めて、なかなか推敲されたんですけど、今回は自然体で淡々とお言葉を述べられたと言っていました。総理の発言と陛下の発言と、というのがあるんですけど陛下はそういうことを意識せずに淡々と追悼式を迎えられたということで。来年からは上皇としてこの 8 月 15 日を迎えられるということになると思いますね。」

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

・【特集】綾瀬はるか「戦争」を聞く→結論：放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

今回は終戦の日の特別企画として女優の綾瀬はるかさんが戦争体験者の証言を聞く内容であった。今回は終戦

後、満州で起こったソ連兵による女性たちへの暴行事件についてであった。今トピックに当てられた報道時間は1762秒で、概要説明、鈴木政子さんの証言、黒川開拓団の証言、帰国後の苦悩、スタジオ解説に焦点が当てられた内容であった。それぞれの時間配分は以下の通り。



帰国後の苦悩についての報道内容は以下の通り。

綾瀬「政子さんは姉のように慕っていたゆう子さんと日本に引き上げてきました。しかし、収容所で暴行され、妊娠していたゆう子さんは港からある施設に連れて行かれます。福岡の氏串野市にあった二日市保養所。引き上げ女性のために作られた秘密の施設でした。ここでゆう子さんは当時違法だった中絶手術を受けるのです。ここで手術を受けた女性は500人とも言われています。施設の看護師がかつて中絶の様子を証言しています。」

村石正子さん（元看護師）「首をまず絞めて、おぎゃーって泣くでしょ、第一声。生まれてきたよって。その声を聞かせないように絞めて。絞めただけじゃ生き返るかもしれない。現に生き返ったもんね。そしたら先生がメスをここにすっと刺して。」

綾瀬「拒みようがなかった中絶手術。背景にあったのは国の考えでした。『極秘裏に中絶すべし』」

綾瀬「満州で暴行を受け、妊娠したゆう子さん。連れて行かれたのは引き上げ女性のための秘密の施設でした。別の施設で中絶手術を行っていた医師が、国からどんな命令を受けたのか後に告白しています。『異民族の血に汚された子の出産のみならず、家庭の崩壊を考えると水際で食い止める必要がある。極秘裏に中絶すべし。』中絶は

当時違法。全ては極秘のうちに進められたと見えます。記録はほとんど残されず、その事実は歴史の闇に葬り去られました。その後、ふるさとの東北へ一度は戻ったゆう子さんでしたが、冷やかな視線に耐えきれず、すぐに上京します。生涯結婚はせず、一人東京で暮らしました。ゆう子さんとの交流を続けた政子さん。二人で出かけたとき気になることがありました。」

鈴木「前に赤ちゃんを抱いている人を見ている。ゆう子さんの目はとても悲しいのか、思い出しているのか、そんな目で見ていました。」

綾瀬「ゆう子さんが残してくれているものがありました。『これがゆう子さんが私に残してくれたもの』(鈴木) 2009年、89歳で亡くなったゆう子さん。満州でのことは結局殆ど語らなかったそうです。それでも晩年、ゆう子さんの心は揺れていたようです。」

鈴木「彼女言いました。晩年。私もやっぱり話しなきゃって。黙っては何にもならないねって。でも私は書けないからあなた書いてねって。いつか書いてねって。でも、彼女が生きている間は書けませんでした。」

綾瀬「去年の末、政子さんはゆう子さんをモデルによく一冊の本を書き上げました。語ることなく死んでいった女性たちの代表者として。タイトルは語らなかった女たち。政子さんが毎年のように通っている場所があります。満州で暴行され、できた子をゆう子さんが堕ろした二日市保養所です。優しい面差しで赤子を抱く水子地蔵。中絶された多くの命を供養するため、戦後安置されたものでした。」

中絶について賛否が別れる内容であるが、報道内容は残された資料の内容を伝えたもので、印象操作が疑われる内容とは言えなかった。

また、スタジオ解説の内容は以下の通り。

雨宮「佐藤ハルエさんの『私達が歯止めになるならば犠牲になりましょう』という覚悟に至るまでの思いを想像すると胸が痛みますけれども。その佐藤さんの故郷である旧黒川村には被害を受けた女性たちのための乙女の碑があるんですね。この地域では開拓団の女性たちが受けた被害を次世代に受け継いでいこうという動きがあるんです。」

星「そうですね。ただ、こういう動きというのは全国的に見るとまだ珍しいんですよ。戦争の狂気というか、悲惨さを語り継ぐことは非常に大切になってくると思います。戦争体験者がだんだん高齢化していますから。これをどうにか何らかの形で語り継いでいく努力。これを我々の世代もやっていかななくてはと思いますね。」

駒田「戦場での日本軍兵士の悲劇を聞いたという人は多いと思いますが、今回のVTRのように語らなかった、あるいは語ることでできなかった女性たちの悲劇というのは少ないですよ。」

星「そうですね。ですから今回非常につらい経験を語ってくれた女性の方々へその勇気に敬意を表したいと思います。ただ、戦争で受けた被害というのは多いんですが一方で、日本はアジア・太平洋で多くの被害を与えた加害者であるわけです。我々の責任は加害者の歴史にも真摯に目を向けることだと思います。」

星キャスターの解説における「ただ、戦争で受けた被害というのは多いんですが一方で、日本はアジア・太平洋で多くの被害を与えた加害者であるわけです。我々の責任は加害者の歴史にも真摯に目を向けることだと思います。」という発言はトピック内容とは関わりなく、一方的な内容であると言える。その意味で印象操作の疑いがあるとも言えるが、放送法に明確に違反するとは言えない内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

NEWS23 週刊報告 詳細版

・トランプ大統領元補佐官を犬呼ばわり→結論：放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

今回はトランプ大統領が政権に批判的な暴露本を書いた元補佐官に対してツイッター上で犬呼ばわりしたことが報道された。今トピックに当てられた報道時間は 28 秒で、経緯説明のみの内容であった。

今回は放送法第四条の見地から問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨
特になし。

検証者所感

特になし。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年8月16日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：トランプ vs メディア、総裁選に向けて、皇太子一家静養入り		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明日から秋の気配 ・大阪富田林警察からの逃走男、ウサギのタトゥー ・三重県鈴鹿市、21歳年下夫殺害事件 ・トランプ vs メディア ・総裁選にむけて ・山口県周防大島、入院中2歳男児の様子 ・新潟女性(24)林道破棄、車を降りた後にトラブルか ・【最新】京都五山の送り火 ・アメリカン航空機パネル落下、成田空港滑走路を一時閉鎖 ・スポーツ報道 ・23Today <p>列島おおアレも秋の気配 大阪富田林警察からの逃走男、逃走中にひったくりか アメリカ・カリフォルニア州、山火事続く 皇太子御一家静養入り 「ソウルの女王」アレサ・フランクリンさん(76)死去</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天気予報 <p>※宇内キャスターは明日からアジア大会の取材のためジャカルタに行く模様</p>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トランプ vs メディア：結論→不十分 <p>自分に都合の悪いニュースをフェイクニュースと呼び、気に入らないメディアを国民の敵と罵倒するトランプ大統領に対しアメリカの350以上の新聞が抗議を起こし「ジャーナリストは敵ではない」という抗議の社説を一斉に掲載したことが報じられた。また、トランプ大統領とメディアのこれまでの対立についても併せて取り上げられていた。</p> <p>スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り返された。</p> <p>雨宮塔子「トランプ大統領とメディアの対立というのはこれまでもありましたが、それでも350を超える新聞社が団結して抗議というのは異例ですよ。」</p> <p>星浩「そうですね、トランプさんのメディア批判には事実誤認がいっぱいあるんですよ、で、メディア側がそれを指摘するんですけども、トランプさんがあんまり取り合わないもんだから一方的な言い放しになるんですよ。そうすると国民からするとね、ああトランプさんの言ってることも一理あるのかなと言うようなことも</p>		

生じるので今回、その新聞各社からするとね、非常に危機感をつのらせて、こういう共同社説ということになったんだと思いますね。」

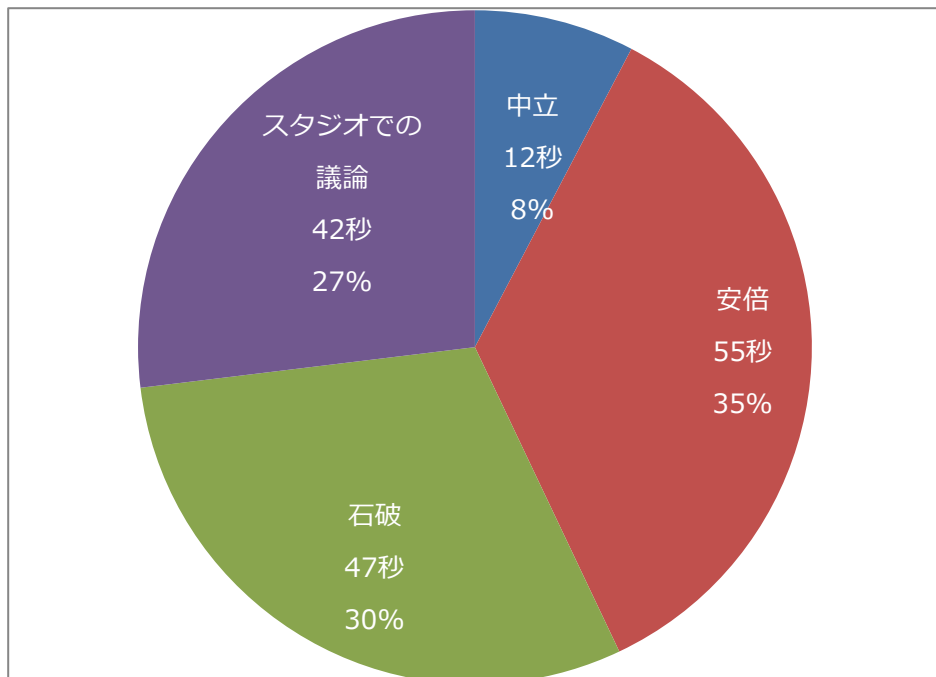
駒田健吾「どれだけ批判されてもトランプ大統領気になっている様子はないんですけども、このままメディアの批判、メディアへの批判というのは止まらないんでしょうか。」

星浩「確かに、アメリカのその新聞とかテレビがね、その既成勢力だと言うことで不信感を持たれているということは間違いありませんよ。それをトランプさんが批判するということで人気を博してきたというやり方なんですけど、あの大統領になって一年半経ちますので、メディア批判だけでこう支持をつなぎとめるというのはなかなかもう難しくなってますから、これからは政策で成果を出していかなくちゃならない。っていうことなので、この共同社説にトランプさんがどう反応するか、ちょっと見ものだと思いますね。」

このトピックに当てられた時間は303秒だった。スタジオでの星キャスターのコメントであるが、確かにトランプ氏が既成勢力としてのメディアを批判することで人気を博してきたというのは一面の事実ではあるが、日本から見て好ましいものか否かは別にしても対北朝鮮外交であるとか関税政策や国境管理政策などでも一定のアクションを行っていることも事実であり、トランプ大統領はメディア批判だけ支持を得ているとは言えない。そうした点を踏まえると「メディア批判だけでこう支持をつなぎとめる」という星キャスターの発言にあらわれているようなスタジオでの論調は放送法第四条一項三号「報道は事実をまげないですること」および同二号「政治的に公平であること」という点では不十分であったと言える。

・総裁選に向けて：結論→特に問題なし

自民党総裁選に向けての動きが伝えられた。このトピックでは中立的な場面、安倍総理の動向について、石破元幹事長の動向について、スタジオでの議論に大別され、それぞれの場面についての時間配分及び比率は以下の通りであった。



安倍総理の動向については、今日は総理経験者らとゴルフを楽しんだこと、ゴルフには小泉元総理や麻生副総理らが参加したこと、安倍総理は一週間ほど別荘に滞在する予定で来月に控えた自民党総裁選への出馬表明は夏休みの後の今月下旬以降となる見通しであることが報じられた。

石破元幹事長の動向については、安倍総理が秋の臨時国会に自民党の憲法改正案を提出すべきとの考えを示したことを厳しく批判したことや、石破氏は明日も会見を開く予定でお盆期間中も積極的に発信を続けていることが報じられると共に、石破氏の総裁選についての「候補者どうしの討論というものは絶対お願いしたいと思っています。」というコメントや安倍氏が憲法改正を争点に据えたことについて「先にスケジュールありきで、私は民主主義の現場というものを（総理は）理解をしていच्छららないとしか思えない。」というコメントが取り上げられていた。

スタジオでは以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

雨宮塔子「石破さんは安倍総理との討論を求めています、これやらないということもありうるのでしょうか。」

星浩「まあ、実質的には日本の総理大臣を選ぶ総裁選挙ですからね、いろんなテーマでしっかりと討論をやってもらいたいと思いますね。」

雨宮塔子「そして一方で安倍総理ですが、ゴルフでリラックス、これも余裕の現れなんですか。」

星浩「まあ、余裕なんですよ。ただですね、ゴルフをやるなどは言いませんけども、総裁選の討論に向けてね、じっくり読書をしたり、新日本の将来について思いを巡らせたりそういう時間も必要かなって言う気がしますね。」

このトピックに当てられた時間は 156 秒で、放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。

・皇太子御一家静養入り

皇太子ご夫妻と長女愛子さまが静岡県須崎御用邸での静養に入り浜辺で貝殻拾いを楽しんだこと、愛子さまは学校の自由研究で貝について調べたことがありご夫妻に尋ねられて次々に会の名前を口にされる場面もあったとのこと、ご一家は海水浴などをして数日間過ごされる予定であることが報じられた。このトピックに当てられた時間は 24 秒で放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

・総裁選に向けて

スタジオでは安倍総理が夏休みにゴルフを行ったことに対して「余裕の現れ」と批判的であり、ゴルフよりも読書や新日本の将来に思いを巡らせたほうがよい、という論調であった。しかし、一言にゴルフといってもそこでプレーしたメンバーは小泉元総理に麻生副総理ら総理経験者である。また、ゴルフは数あるスポーツの中でもゲームの中で他のプレイヤーとのコミュニケーションを取る場面が圧倒的に多いという特徴がある。そういったスポーツに元総理らと興じ、その中でコミュニケーションを通じて得られるものも少なくはないのではなかる

NEWS23 週刊報告 詳細版

うか。また、一昨日の報道では地方票の獲得に活路を見出したい石破氏が小泉進次郎氏に接触したと報じられていたが、安倍総理が進次郎氏の父親である小泉元総理とゴルフを行ったのはそうした石破氏の動きへの対抗であるという見方も成り立つのではないだろうか。政治家同士のゴルフを単なるレジャー感覚であるかのように受け止めるのはベテラン政治記者の星キャスターらしからぬ、いささかウブな見方なのではなかろうかと感じた。

NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年8月17日
<p>出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙 ゲスト：北島康介（スペシャルゲスト、ジャカルタから中継） ※宇内キャスターはジャカルタからアジア大会を中継</p>		
<p>検証テーマ：農水省と総務省で障害者の雇用率を水増し、前横須賀市長書類送検、新しい政府専用機到着</p>		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 40 日ぶり猛暑日ゼロで一転秋の気配に、北海道では「初雪」確認 ・ 大阪の逃走男、服装を変えながら逃走か ・ 全日本剣道連盟居合道部門、“最高位”の審査で不正 ・ 日大アメフト悪質タックル、警視庁が内田前監督らを任意聴取 ・ 子どもからシニアまでプログラミング学習急拡大 ・ おととい発見された二歳男児、3 日間で口にしたものは ・ 農水省と総務省で障害者の雇用率を水増し、他省庁も調査 ・ 三重県鈴鹿、逮捕の 21 歳年上妻、殺害前に夫の保険金増額 ・ 新潟県十日町市で 24 歳女性の遺体発見事件、知人男性の車が林道で発見 ・ スポーツ報道 ・ 23Today <ul style="list-style-type: none"> 列島一転、秋の気配 大阪の逃走男、最新映像公開 前横須賀市長書類送検 愛知県、みだらな自撮り動画を拡散 16 歳少年ら 14 人を書類送検 新しい政府専用機到着 米カリフォルニアで車からクマ出没 ・ 天気予報 		
<p>放送法第 4 条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農水省と総務省で障害者の雇用率を水増し：結論→特に問題なし 農水省で実際には対象外の職員を障害者として計算していた可能性があること、総務省でも適切な障害者確認が行われず数字が水増しされていたこと、厚生労働省は他のすべての象徴に対しても調査を求めていることが報じられた。このトピックに当てられた時間は 64 秒で、放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。 ・ 前横須賀市長書類送検：結論→特に問題なし 神奈川県横須賀市の吉田雄人前市長がサザエを密漁したとして書類送検されたこと、吉田前市長は「家族で食べるためだった、軽率な行動で反省している」と容疑を認めているということが報じられた。このトピックに当てられた時間は 23 秒で、放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。 		

NEWS23 週刊報告 詳細版

・新しい政府専用機到着：結論→特に問題なし

新しい政府専用機が内装工事を終えて北海道の航空自衛隊千歳基地に到着したこと、機体はボーイング 777 型機でもう一機とともに来年 4 月から運用されること、新しい政府専用機は全日空が整備などを行うことになっているとことが報じられた。このトピックに当てられた時間は 21 秒で放送法第四条の見地からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

特になし

検証者所感

特になし